

若者による旧広島陸軍被服支廠利活用提案について

令和5年度に、へいわ創造機構ひろしま（HOPE）が実施した「G7広島サミット・レガシープロジェクト 若者たちのピース・キャラバン」の参加者が、同事業での活動を通して得た学びをもとに、広島県に対して、3Dモデルによって作成した旧広島陸軍被服支廠の利活用案を提案します。

若者の取組をぜひご取材いただきますようお願いいたします。

実施概要

- 日時 令和6年6月7日（金） 14:00～15:00
- 場所 イノベーション・ハブ・ひろしまCamps
（広島市中区紙屋町1-4-3 エフケイビル1階）
<https://www.camps-hiroshima.jp/>
- 提案者 ◆小田 珠々乃（おだ すずの） 広島市立舟入高等学校卒業生
※令和6年3月に卒業。9月から海外の大学に進学予定。
◆黒瀬 陽音（くろせ はるね） 広島県立広島叡智学園高等学校3年
◆望月 帆奈（もちづき はんな） 広島県立広島叡智学園高等学校2年
- 県関係者 ◆地域政策局 都市圏魅力づくり推進課 職員
◆ 同 平和推進プロジェクト・チーム 職員
- 次第 ◆平和推進プロジェクト・チームより概要説明
◆学生からの利活用提案
◆提案書提出
◆都市圏魅力づくり推進課からのコメント

若者たちのピース・キャラバンについて

G7広島サミットの成果を受けて、広島を中心とした日本の若者15名を、日本を除くG7各国に派遣し、現地の若者と議論・交流することで、現地の人々が再度G7広島サミットを想起し、広島への関心を更に高めつつ、核兵器問題をはじめとした幅広い地球規模課題の解決に向けた機運向上を図ることを目的として実施。

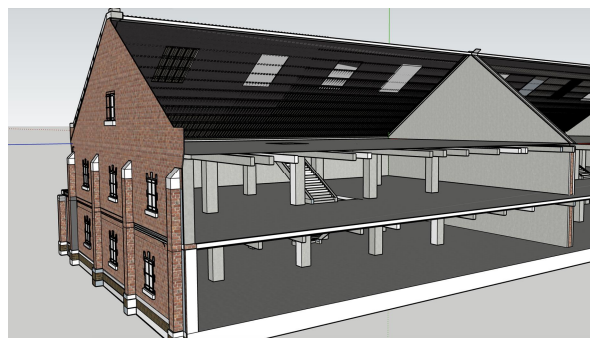
主催：へいわ創造機構ひろしま（HOPE）後援：外務省

<https://hiroshimaforpeace.com/g7summitlegacyproject/>

※作成中 3Dモデル



外観



内部構造